



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和元年 11 月 22 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2019 年第 46 週
(11/11~11/17)

○ インフルエンザは、県全体で流行入りの目安とされる定点当たり 1 人を超えました。小中学校等の学級閉鎖も増えてきていますので、今後の流行に注意が必要です。→トピックス

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

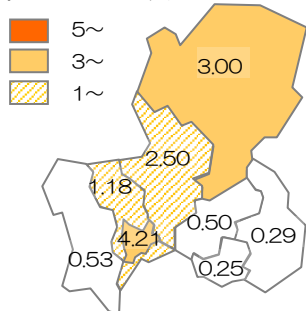
● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—	
注意報レベル	なし	—	

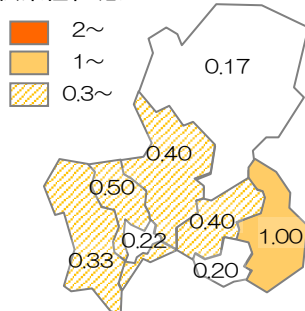
※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

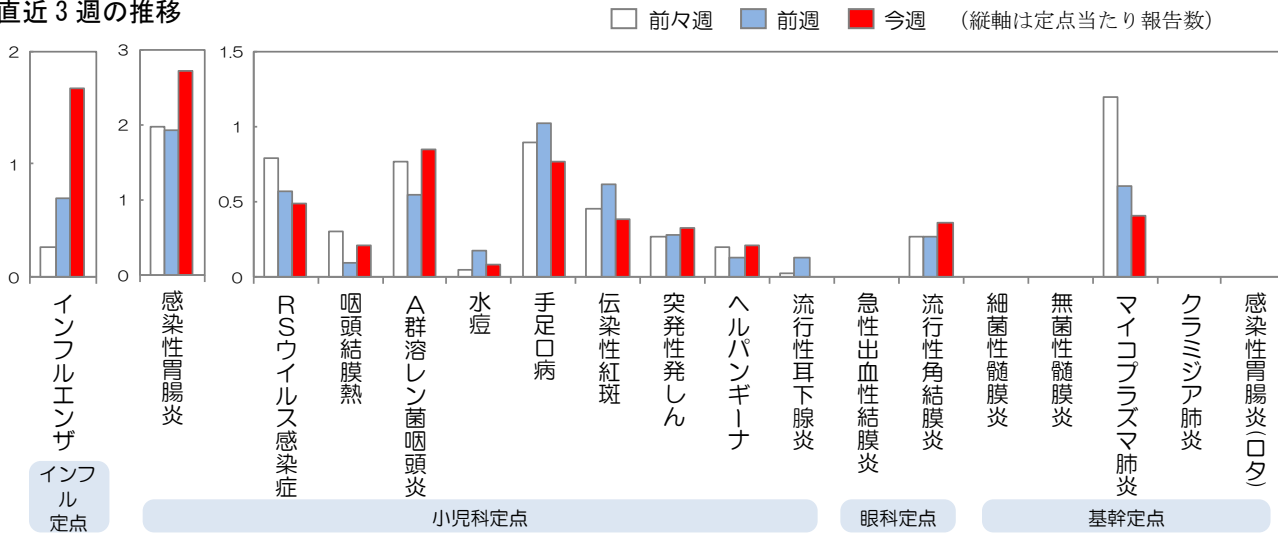
<インフルエンザ>



<伝染性紅斑>



● 直近 3 週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 10 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例
- 5 類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、
侵襲性肺炎球菌感染症 2 例、梅毒 3 例、百日咳 7 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■ トピックス

● インフルエンザ

◇ 県内で流行入りしました

県内のインフルエンザ定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は、第46週に定点あたり1.67人となり、流行入りの目安とされる定点あたり1人を超えました。

今シーズンは、昨シーズンより3週、一昨シーズンより2週早い流行入りとなりました(図1)。

なお、全国では第45週に流行入りしています。

また、先週から今週にかけて(11/11～11/21現在)、県内7の小中学校(岐阜市、瑞穂市、本巣市、高山市)でインフルエンザによる学級閉鎖等が行われています。

岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスシステムによると、第46週に報告された患者の迅速診断キットによるA・B型別割合は、A型が98%を占めており、現時点ではA型が主流となっています。

また、今シーズンのウイルスサーベイランスでは、11月17日時点で県内のインフルエンザ患者12例からインフルエンザウイルスを検出しており、型・亜型はすべてAH1pdm09となっています。

◇ 手洗いや咳エチケットの徹底を

基本的な予防対策としては、外出後の手洗いを励行すること、流行期には人ごみを避けること、やむを得ず人ごみに出る場合にはマスクを着用することなどが挙げられます。また、感染拡大を防止するためには、咳エチケットによる飛沫感染対策が重要となります。

インフルエンザワクチンは、発症した場合の重症化予防に有効であるため、65歳以上の高齢者などは定期接種の対象となっています。

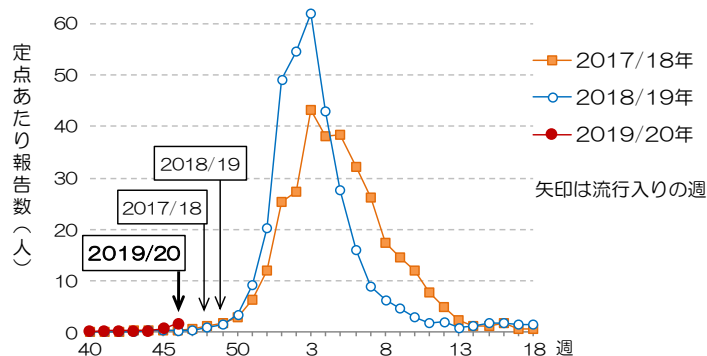


図1 インフルエンザ患者報告数(岐阜県:87定点)

○ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約5,000か所(岐阜県87か所)のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。(保健医療課 HP)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-ki jun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>